

寒さを吹き飛ばせ

新春泳ぎ初め

1月1日、元旦の恒例行事で今年が53回目の「新春泳ぎ初め」が川内川宮都大橋上流で行われました。

気温10度の肌寒いなが、無事故を祈願する「神事」などを行った後、小学生から一般まで約100人の参加者が、水温11度の川内川に元気よく飛び込みました。

参加者は泳いだ後、関係者の準備したあつあつの「ぜんざい」などで震える体を温めていました。



元気よく飛び込む参加者



懸命に泳ぐ子どもたち

出荷される「十万温州みかん」



さつま農協新生みかん団地組合
かごしまの
農林水産物認証を受ける

農林水産物認証を受ける

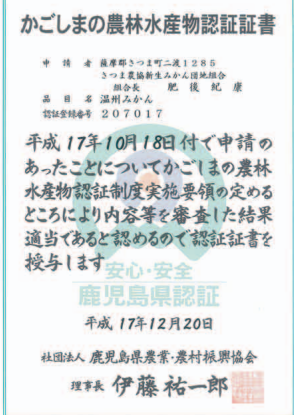
12月20日、さつま農協新生みかん団地組合（肥後紀康組合長ほか6名）の生産する「十万温州みかん」が、かごしまの農林水産物認証を受けました。

この制度は、安心と安全に関する一定の基準に基づき、県が定める安心・安全な農林水産物を生産する生産者の取組みを消費者に正確に伝える制度で、今回県内では5団体8品目が認証されました。

安心・安全への取組みが正しく評価され認証された「十万温州みかん」は、かごしまの太鼓判として、県内各地の量販店へ出荷されます。また、「ちくりん館」や「せせらぎの郷二渡」でも販売されます。

出荷期間

1月23日から2月25日頃まで



お茶を寄贈する宮脇婦人部長



さつま町茶生産協会婦人部

お茶の寄贈

12月16日、さつま町茶生産協会婦人部（宮脇ちみ子婦人部長ほか21名）が町社会福祉協議会にお茶を寄贈されました。

これは、高齢者の方々にこの寒い時期にお茶を飲んでいただき、心身共に温まってもらいたいとの目的で贈られたもので、当日は宮脇婦人部長から児玉清美会長に町内で生産された「みやかおり」8キロが手渡されました。

寄贈されたお茶は、町内の高齢者福祉施設などへ届けられ、利用者の食事などに使用されました。